

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	なはまちつながるプロジェクト
対象地域	沖縄県那覇市・中心市街地
対象地域の概要	那覇市の位置と市域    ▲那覇の位置 ▲中心市街地(直径2kmの円内にほぼ納まる) ▲商店街に増殖するお土産物屋
提案内容の概要	地域への愛着・誇りを育み、迫り来る地域課題も解決し、後世へなはまち地域を受け継ぐことができるような持続可能なつながりの仕組みをつくることを目指し、昨年度の取り組みから生まれたつながりを活かし戦略的地域情報収集に取り組む。また、つながりの拠点をつくり、活動が継続するための方策を開発することに取り組む。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	地域の課題は以下のとおりである。 【課題1】『現在』のつながりは希薄で、商業者と居住者・地元買い物客とのつながりが少ない。 【課題2】『過去』を活かすことができないで、地域外専門家とのつながりが少ない。 【課題3】『未来』へ地域への愛着・誇りをつなげないで、子ども・子育て世代とのつながりが少ない。
(2) 活動内容の案	活動①：過去・現在・未来をつなぐ拠点設置社会実験の実施 内容： 20年度の取り組みとして、社会実験をするための事前準備として取り組みを行った。課題としては、しっかりと人材を配置し、時間をかけ、わざわざ足を運んでも知りたくなるような「情報」をしっかりと発信することや、「魅力」をつくっていくことが必要であることがわかった。 今年度の取り組みとして、昨年度同様、那覇市の施設である「にぎわい広場」を活用して、「まちつな資料館」を設置し、社会実験として実施する。昨年度の取り組み後、個人で持っている書籍等の資料を提供し、資料館を充実させたいという声も出ている。そのような地域の方々と協力しながら、地域の情報が集積していくような、サロンのような地域の拠点をつくるってことを取り組みたい。 活動②：つながりを活かして収集した地域情報の戦略的活用実験 内容： 昨年度取り組んだ「マチグラーゼ」では、「マチグラーゼ」「まちづくり」に関わる多様な分野・業種・専門家の方々とつながりができた。今年度は、このつながりを活かして、「地域への愛着・誇り」を育むことができるような地域情報を積極的に収集する取り組みを多様な主体と連携しながら実施したい。具体的には、取り組み開始時に、地域情報収集のための戦略会議を開催しそこで方向性を見出し、連携の仕方を考えた上で取り組みをスタートし、終了後、振り返り会を実施し評価する。また、この取り組みを通じて、狙いを定めた情報収集を行いたいと思ったときに、これまでにできたつながりを活かして、それが実行可能かどうかを検証したい。 活動③：持続可能な仕組み開発に向けた取り組み

内容：

昨年度からの課題として、地域情報収集・発信と拠点設置については、取り組みを持続可能的に実施していける目処が立っていない状況がある。今年度の取り組みとして、活動①、②を通じて、収集された地域情報を活用して、収入が得られる仕組みを開発したい。例えば、案として、出版社と連携をして、ガイドブック等の本の出版を行うなどである。このことも視野に入れながら、活動開始時の戦略会議の段階で策を練って挑戦していきたい。

応募団体名 NPO 法人まちなか研究所わくわく

リンク <http://www.machiwaku.com/>

部局／担当者名 コミュニティ支援事業部／宮道

連絡先 098-861-1469

推薦市町村名 那覇市